

大抵(注1)観(注1)書(注1)、先須(注1)熟讀、使(注1)其言皆若(注1)出(注1)於吾之口。繼(注1)以(注1)精思、使(注1)

其意皆若(注1)出(注1)於吾之心。然後可(注1)以有得爾。① 至(注1)於文義有疑、衆

說紛錯(注2)、則亦虚心静慮、勿(注2)邊取捨於其間。② 先使(注2)一說自為(注2)

一說而隨(注2)其意之所(注2)之、以驗(注2)其通塞、則其尤無(注2)義理者、不待(注2)

觀(注3)於他説而先自屈矣。③ 復以(注3)衆說互相詰難而求(注3)其理所安、

以考(注3)其是非、則似是而非者、亦將奪(注3)於公論而無(注3)以立(注3)矣。④

大抵徐行却立、処静觀、動如攻堅木。先其易者而後其節

目、如解乱繩、有所不通、則姑置而徐理之。此讀書之法也。

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

(注) 1 観_レ書_一—四書五経などを読み、考察する。

2 紛錯_一—いりみだれる。

3 通塞_一—通じるか通じないか。

4 詰難_一—欠点を非難し問いつめる。

5 徐行却立_一—ゆっくり進みまた立ちどまる。

6 攻_一—細工する。